

同時開催

大好きなトットリの「未来」を切り撮ろう! 新発見! 再発見!
「鳥取フォトキャラバン」

小中高生や地域の方々が身近な自然を舞台にデジタル一眼レフカメラで写真を撮影し、トットリの魅力を伝えていくプロジェクト「鳥取フォトキャラバン」の作品をそれぞれの会場で展示します。日本の原風景に溢れるトットリの魅力を子どもたちは「新発見」し、大人たちは「再発見」する世代と地域、文化と歴史をつなぐ「地域交流型」の取り組みです。

鳥取フォトキャラバン 代表 水本俊也(写真家)



特別協力:キヤノン株式会社

クラシック
演劇

TOTTORI LIVE YELL project

倉吉公演



指揮者 大浦智弘



W.A.モーツァルト

オーケストラ・オペラ × 鳥の劇場

- 日時/12.26(土) 開演/16:00(開場/15:00)
- 会場/倉吉未来中心 大ホール

【第1部】
「鳥取で生まれたクラシック」

【第2部】
「モーツァルト、四大オペラと人生」
～歌と芝居、管弦楽で綴るオーケストラ・オペラライブ～



新倉健 上萬雅洋 井谷優太

観覧無料

全席自由

みんなで観る
ライブビューイング

鳥取公演をライブビューイングでご覧いただけます。
●日時/12月26日(土) 19:00開始 ●会場/倉吉未来中心 小ホール

JAZZ
演劇

鳥取公演



鳥取JAZZ/One Night Dream BIG BAND



ジェイムス・T・アラキ

鳥取JAZZ × 鳥の劇場

- 日時/12.26(土) 開演/19:00(開場/18:00)
- 会場/とりぎん文化会館 梨花ホール

「スウィング・ジャパン」
～日系二世ジミー・アラキの生涯と日本ジャズ秘話をめぐって～
原作/秋尾沙戸子
「スウィング・ジャパン-日系米軍兵ジミー・アラキと占領の記憶」(新潮社刊)



ゲスト奏者 五十嵐明要

観覧無料

全席自由

みんなで観る
ライブビューイング

倉吉公演をライブビューイングでご覧いただけます。
●日時/12月26日(土) 16:00開始 ●会場/とりぎん文化会館 第一会議室

ライブ配信・記録映像の視聴について

公演当日はライブ配信を、公演終了後は記録映像をお楽しみいただけます。
詳しくは下記「鳥の劇場 Youtubeチャンネル」もしくはホームページ(<https://tottori-liveyell.jp>)をご覧ください。

ライブ配信 Youtubeチャンネル 「鳥の劇場 Youtubeチャンネル」よりご視聴いただけます。



【お問合せ】 TOTTORI LIVE YELL project 実行委員会 事務局
〒689-0405 鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1812-1(鳥の劇場内) TEL.0857-84-3268

主催/文化庁 公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 TOTTORI LIVE YELL project 実行委員会
実行委員会/特定非営利活動法人 鳥の劇場、公益財団法人 鳥取県文化振興財団、新倉 健、鳥取JAZZ、
山陰少年少女合唱団リトルフェニックス、一般財団法人 米子市文化財団、日本海テレビジョン放送株式会社、
株式会社新日本海新聞社、日本海ケーブルネットワーク株式会社、株式会社FM鳥取、
株式会社エムアンドエムドットコー、鳥取県地域づくり推進部文化政策課



主催/文化庁 公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 TOTTORI LIVE YELL project 実行委員会



合唱
×
演劇

ライブへのエール。
ライブからのエール。

山陰少年少女合唱団
リトルフェニックス × 鳥の劇場

2020.12.20(日) 開演 14:00
会場/米子市公会堂

山陰少年少女合唱団 リトルフェニックス定期演奏会によせて

ライブへのエール。 ライブからのエール。

ステージを奪われた表現者たちがいる。
それでも、届けたい想いをずっと抱えてきた人たち。
いまこそ彼らに、観るというエールを贈ろう。
そして、私たちも気づいたはずだ。
泣いたり、笑ったり、歌ったり。
そんな時間こそが、生きることそのものだったと。
ライブへのエールを贈ること。
それはきっと、ライブからエールをもらうこと。
人とライブのエール交換が、
日本全国で、いま幕を開ける。

JAPAN LIVE YELL project

JAPAN LIVE YELL project

新型コロナウイルスの感染拡大により、この春、世界から突然「ライブ」が消えました。
徐々に文化芸術活動は再開しているものの、未だ深刻な状況が続いています。

「JAPAN LIVE YELL project」(ジャパン・ライブエール・プロジェクト)は、文化庁、芸団協、そして全国27都道府県の文化芸術団体が連携し、私たちの暮らしにもう一度ライブを取り戻す後押しをする、緊急プロジェクトです。全国各地で、地域の特色を生かした個性豊かなイベントが延べ500本以上展開される予定です。リアルな会場での参加だけでなく、オンライン配信を活用して多くの方にご参加いただけるプログラムも企画されています。

新しい生活様式のもと、全国各地の芸術家やスタッフ、文化芸術に親しむ愛好家・子供たちは、かつてないチャレンジに取り組んでいます。知恵を出し工夫を重ね、舞台の幕を開け始めています。ライブを愛する皆さんと、もう一度感動と喜びを分かちあうために。あらゆる立場の人々に、ライブでエールを贈るために。

ぜひもう一度、ライブの醍醐味に触れてください。きっと新しい出会いが見つかるはずです。リアルやオンラインでの参加を通して、魂を揺さぶるステージを届けてくれる表現者やスタッフへ、みんなでエールを贈りましょう!

◆名称
JAPAN LIVE YELL project
ジャパン・ライブエール・プロジェクト

◆参加27地域
北海道、岩手県、秋田県、山形県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、石川県、長野県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、愛媛県、高知県、福岡県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、沖縄県

◆期間
2020年8月～2021年3月

◆主催・協力
主催：
文化庁／公益社団法人日本芸能実演家団体協議会
27都道府県の実施主体
協力：
劇場、音楽堂等連絡協議会／公益社団法人全国公立文化施設協会
公益社団法人日本オーケストラ連盟
※文化庁令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業

お祝いの言葉

米子市長
伊木 隆司



本日、山陰少年少女合唱団リトルフェニックス第15回定期演奏会が盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

山陰少年少女合唱団リトルフェニックスは、前身の山陰放送少年少女合唱団の時代から地域での活動はもとより、国際音楽祭への参加をはじめ世界を舞台に意欲的に活動されており、そのめざましい活躍によって地域の文化振興に大きく寄与しておられることに対して、深く敬意を表します。

また、昨年には創立60周年を迎えられ、益々のご活躍を期待しているところであります。

さて、本年は新型コロナウイルス感染症により、多くの文化芸術の活動、公演、演奏会が中止または延期となりました。貴団におかれましても、様々なご苦勞を乗り越え、本日を迎えられたことと拝察いたします。今回の定期演奏会は文化庁主催の「TOTTORI LIVE YELL project」の一環として開催され、失われた文化芸術体験の機会を取り戻すため、全国27都道府県で取り組まれるものです。団員の皆様の熱意や思いのこもった歌声で、本日ご来場のすべての皆様を魅了する素晴らしいステージになるものと確信しております。

結びに、本演奏会のご成功と山陰少年少女合唱団リトルフェニックスの益々のご発展、団員の皆様のご活躍を祈念して、お祝いのことばといたします。

ごあいさつ

鳥取県合唱連盟理事長
山田 衛生



山陰少年少女合唱団リトルフェニックスは、今回感染症の影響で合唱活動が困難の中、「TOTTORI LIVE YELL project」の一環として第15回定期演奏会を開催される事となりました。

毎回思うことですが定演には「うたのなかま」として合唱団きゃらばく、合唱団ばぶらなど大人の合唱団の共演があり、味わいの深いコンサートとなっています。多くの先輩たちを持つ60余年の歴史のある合唱団ならではの取り組みとなっており、観客の共感を得ています。

子供と大人が共にステージで歌いあう喜びを共有することは子供たちの健全育成に大きな役割を果たしますが、毎回運営に携わって来られた方々のご苦勞があつてのことです。プログラム〔2部〕では〔鳥の劇場〕との共演が載せられています。郷土の作曲家岡野貞一の作品が同じく新倉健氏編曲による新しい作品となり、それが演劇とどのような形で展開されていくか大変楽しみです。リトルフェニックスのメンバーにとって貴重な体験となり、今後の合唱表現の幅が広がって行くことを期待しています。

ごあいさつ

米子市文化協議会 会長
小谷 幸久



全国的に猛威を振るうコロナ禍の中、細心の注意を払いながら長期にわたる練習を重ねてこられ、第15回定期演奏会の開催にこぎつけられましたこと、本当におめでとうございます。大変なご苦勞がおありになったこととお察しいたします。

さて、山陰少年少女合唱団リトルフェニックスは県下でもっとも古く、もっともレベルの高い少年少女合唱団だと思っています。

今年も多く仲間が共演して下さるようですが、特に第1部に「大西瑞香&とっとり邦楽合奏団」・第2部に「鳥の劇場」の皆さんをゲストにお迎えしてご共演いただけますこと、本当に楽しみなステージになりそうで、大いに期待しています。

コロナ対策の一環として、「TOTTORI LIVE YELL project」実行委員会が立ち上がり、西部地区では「合唱」×「演劇」ということでこの定期演奏会が取り組まれて、今日のステージで皆様にお披露目することとなりました。「鳥の劇場」さんと一緒に「岡野貞一物語 ふるさとのかなた」～終わらない戦争、作曲家の祈り～が上演されます。どのように進捗するのか、どのような舞台展開が起こるのか興味津々といったところです。きっとすてきなクリスマスプレゼントを一足お先に貰えるような気がします。

終わりにりましたが、演奏会のご成功と「リトルフェニックス」と「大西瑞香&とっとり邦楽合奏団」さん、「鳥の劇場」さんの益々のご発展とご活躍をお祈りしまして、お祝いの言葉といたします。

ごあいさつ

リトルフェニックスの会
杉原 弘一郎



コロナ禍のなか、本日の公演にお越しいただき誠にありがとうございます。

今年ではあらゆるイベント等が中止や延期になり目標が見えなくなりましたが、団員たちは練習を続けてまいりました。このたび、文化庁主催事業「TOTTORI LIVE YELL project」の一環として演奏会を開催することとなりました。2部構成となっており、第1部が第15回山陰少年少女合唱団リトルフェニックス定期演奏会で、「とっとり邦楽合奏団」や地元の合唱団の皆さんとの共演です。そして第2部が鹿野町を拠点に世界的に活動している「鳥の劇場」とのコラボレーションで、鳥取県出身の作曲家 岡野貞一の物語を音楽劇で上演します。文化芸術は人を幸せにし、地域社会を心豊かにします。いま一度、地域の皆さんに舞台芸術の素晴らしさを体感していただき、笑顔をお届けできれば幸いです。コロナ禍だからこそ実現したこの企画をぜひお楽しみください。

山陰少年少女合唱団リトルフェニックス

第15期団員



本池佳乃(高2) 荒川望咲(高2) 稲田灯華(高3) 久保田陸斗(高2) 三浦泰斗(高2) 白石睦(高1) 吉岡凜(高1)
 長谷川けいと(中3) 今出智子(中2) 引野真杏(中2) 山本彩七(中2) 青木千笑(中1) 林原早希(中1) 稲田創大(小6)



塚谷芽依(小6) 安藤結菜(小5) 亀井あさひ(小5) 定岡音楽(小3) 鷺見朱音(小3) 山本絆(小3)

ジュニア団員



錦織杏樹(小3) 亀井麗(小2) 戸田澄花(小2)

OG



池田麻衣 椿優花 中村綾也佳 平林久美子



音楽(合唱)を通じて、子ども達の夢を育み、情操を養い、また体力作りや相互扶助の精神を培うため、現合唱団の前身「山陰放送少年少女合唱団」が1959年設立された。2004年山陰放送より独立し、45年の伝統を受け継いだ「山陰少年少女合唱団 リトルフェニックス」が誕生した。昨年、創立60周年という節目を迎え、今年が61年目の新たな挑戦の年である。

米子市とその周辺をホームグラウンドとして、6~18歳までの子供たちが在籍し、週2回程度練習を重ねている。指導には原礼子先生とともにOGも加わり、特に、伝統である「歌いながら手話や踊りなどのパフォーマンス」をするスタイルを、現団員にしっかりと伝えている。演奏活動は、美術館やお寺、福祉施設など、各方面からの要請により年20回程度行う。国内では、仙台市、東京、福岡、徳島、広島など、海外ではバリ、江原道、リトアニア、ポーランド、スペイン、デンマーク、ブルガリアなどで演奏。近年では、海外の合唱団を鳥取県に招致するなど、国際交流にも積極的に活動している。

毎年1回開催される定期演奏会は毎回テーマを設け、趣向を凝らした演出により、好評を得ている。クラシックからポピュラー音楽までレパートリーは広く、近年は「童謡・唱歌のふるさととっとり」「まんが王国鳥取」の発展に寄与するべく、特に鳥取の作曲家作品やアニメ曲などを多く取り上げ紹介している。

「第16回 山陰少年少女合唱団 リトルフェニックス定期演奏会」
 ◆2021年12月19日(日) ◆会場/米子市公会堂 ~またお会いしましょう~

鳥の劇場

出演者



齊藤頼陽(おじいさん) 大川潤子(小川先生) 安田茉那(子ども) 中垣直久(子ども) 高橋等(東京音楽学校教員)



2006年設立。演出家中島諒人を中心に俳優や技術スタッフなど演劇人が、自分たちの力で鳥取市鹿野町の使われなくなった小学校や幼稚園の施設を劇場に変え、NPO法人として運営。演劇の力と常駐する専門家集団の力を核とし、現代演劇の作品の力と劇場という場の力を通じて、様々な社会的実践を重ね、全国、そして世界からも注目を集めている。「創る」「いっしょにやる」「試みる」「招く」「考える」「成長の支援」の6つのプログラムを事業の柱とし、コミュニティーの中に劇場と現代演劇があることの社会的な可能性をさまざまに模索している。



外観 2016年に鳥取市、鳥取県により改修



2008年から毎年開催している国際演劇祭「鳥の演劇祭」



学校でのワークショップの様子



障がいのある人といっしょに舞台を作る「じゆう劇場」

プログラム

第1部

第15回山陰少年少女合唱団
リトルフェニックス定期演奏会

第1ステージ 1年の歩み

◆山陰少年少女合唱団リトルフェニックス
指揮／原礼子 ピアノ／渡邊芳恵

1. 児童合唱と箏・十七絃のための「四季の子ども」より
子どもの「さくら」 日本古謡 編曲／小林健一郎
共演 大西瑞香 & とっとり邦楽合奏団
(箏／大西瑞香、住田康子 十七絃箏／小泉和子)
2. 「鳥になる」
作詞・作曲／谷村新司 編曲／鎌田典三郎
3. 「ハイサイ シーサー」
作詞・作曲／入里叶男
4. 「翼をください」
作詞／山上路夫 作曲／村井邦彦 編曲／脇山知宏

第2ステージ うたのなかま

うたのなかま①

◆合唱団きゃらぼく、合唱団ほぶら、ドリーム・エコー、歌はともだち
指揮／原礼子 ピアノ／景山千恵子

1. 「マイ バラード」
作詞・作曲／松井孝夫
2. 「星影のエール」
作詞・作曲／GReeeeN 編曲／島田昌典
合唱・ピアノ編曲／田中達也

うたのなかま②

◆コール・セゾン 指揮／原礼子 ピアノ／岩本理恵

1. 「きみ歌えよ」
谷川俊太郎 作詩／信長貴富 作曲
2. 「前へ」
佐藤賢太郎 作詞・作曲

第3ステージ ディズニーの世界

◆山陰少年少女合唱団リトルフェニックス
指揮／原礼子 ピアノ／渡邊芳恵 振付／永田英子(コール・セゾン)

1. 「ディズニーのおとぎの世界」 編曲／越部信義
 1. Zip-A-Dee-Doo-Dah(映画 南部の唄)
 2. Heigh-Ho(白雪姫)
 3. Bibbidi-Bobbidi-Boo(シンデレラ)
 4. When you wish upon A Star(ピノキオ)
 5. Alice in Wonderland(不思議の国のアリス)
 6. The Siamese Cat Song(わんわん物語)
デュエット／山本彩七・今出智子
 7. Supercalifragilisticexpialidocious(メリーポピンズ)
 8. Once upon A Dream(眠れる森の美女)
トリオ／本池佳乃・荒川望咲・吉岡凜
 9. Chim chim cher-ee(メリーポピンズ)
ソロ／白石睦
 10. The Bolland of Davy Croket(西部劇 鹿皮服の男)
 11. Micky Mouse March(ミッキーマウスのテーマソング)
 12. La-La-Lu(わんわん物語)
 13. Some Day My Prince will come(白雪姫)
 14. It's A Small World(小さな世界)

休憩(20分)

第2部

岡野貞一物語 ふるさとのかなた

昔の鳥取の音楽家のことを調べている子どもたちの前に、不思議なおじいさんと古いリードオルガンが現れる。おじいさんは、はじめぼんやりしているが、子どもたちから岡野貞一さんなどの古い話を聞いているうちに、少しずつ元気になっていく。しかしやがて昭和の戦争の話になり……。

◆山陰少年少女合唱団リトルフェニックス
指揮／原礼子 ピアノ／渡邊芳恵
◆鳥の劇場
演出／中島諒人 脚本／中島諒人、中島ここ 編曲／新倉健

1. 「岡野貞一メドレー」
(春が来た～春の小川～もみじ～朧月夜)
作詞／高野辰之 作曲／岡野貞一
2. 「お日様が見つけたもの」
作詞／佐藤一英 作曲／岡野貞一
3. 「たけのこ」
作詞／北原白秋 作曲／岡野貞一
4. 「讚美歌312番」
5. 「子守唄(催眠歌)」
作詞／三好達治 作曲／岡野貞一
6. 「雪の上の鴉」
作詞／興謝野晶子 作曲／岡野貞一
7. 「讚美歌405番」
8. 「故郷」
作詞／高野辰之 作曲／岡野貞一

フィナーレ

◆山陰少年少女合唱団リトルフェニックス、コール・セゾン、合唱団きゃらぼく、合唱団ほぶら、ドリーム・エコー、歌はともだち、米子工業高等専門学校合唱部(有志)、コール・凛(有志)、合唱団 こさじ、(有志)、保護者会、鳥の劇場
指揮／原礼子 ピアノ／渡邊芳恵

1. 「いのちの歌」 「世界合唱の日」に捧げる歌
作詞／Miyabi 作曲／村松崇継 編曲／首藤健太郎
2. 「ビリーブ」
作詞・作曲／杉本竜一

◆舞台監督／大野英寿
◆音響／村上勉(サウンドカンパニー)・原伸弘(オハラ企画)
◆照明／生田正
◆字幕操作／山陰少年少女合唱団リトルフェニックス保護者会
◆手話／鳥取県西部聴覚障がい者センター
◆音声ガイド／リーディングアクト
◆舞台スタッフ／石井一成(米子舞台)
◆音響スタッフ／サウンドカンパニー・頭本大地(オハラ企画)
◆照明スタッフ／渡部竜己(オハラ企画)・伊中昌宏(オハラ企画)
◆ライブ配信・記録映像／エムアンドエムドットコー
◆記録写真・取材／新日本海新聞社
◆舞台裏サポート／山陰少年少女合唱団リトルフェニックス保護者会
◆舞台制作／鳥の劇場

◆会場運営／エムアンドエムドットコー
日本海テレビジョン株式会社・一般財団法人米子市文化財団
山陰少年少女合唱団リトルフェニックス保護者会

◆企画制作／鳥の劇場・山陰少年少女合唱団リトルフェニックス
エムアンドエムドットコー

◆協力／有限会社西川ピアノ調律所 ◆協賛／わらべ館

アーティストのご紹介

賛助出演

大西瑞香&とっとり邦楽合奏団

箏演奏家・大西瑞香(2019年度鳥取県文化功労賞受賞)が主宰する和楽器演奏集団。鳥取県総合芸術文化祭「平成の芝居小屋朝日座事業」において、新作邦楽曲「米子八景」の作曲・演奏を担当。それを機に和楽器奏者11名で編成する演奏集団を結成。舞台音楽の創作、民謡や童謡などのアレンジや西洋楽器とのコラボレーションなど、県内外で和楽器をよりモダンで親しみやすい形で提供している。

編曲者

新倉健

1951年神奈川県茅ヶ崎市生まれ。1976年武蔵野音楽大学大学院(作曲専攻)修了。作曲を福島雄次郎、金光威和雄、指揮法を長谷川朝雄、久保田洋の各氏に師事。主な作品にオペラ「ボラーノの広場」、オペラ「窓」「マドリガル」「ゴング・エカサマ・ブダヤ」などがある。また、NYタイムズで好評され米国各地で演奏された「広島が言わせる言葉」をはじめ、ドイツで出版された「ギター・タンジャリ」、オランダで放送された「歌の祭り」など、その作品は海外でも高い評価を得ている。平成13年度鳥取市文化賞、平成15年度鳥取大学研究功労賞、平成28年度鳥取県文化功労賞受賞。日本作曲家協議会会員、作曲グループ「樹」、作曲工房「ババゲーノ」同人。

出演団体

コール・セゾン

山陰放送少年少女合唱団のOGの有志により、25年前に結成された。「実際に声を合わせて響きを感じながら歌うのは、やはり気持ちがいい。」改めてこう実感したのは、先月、久しぶりに集まり練習を始めた時のことでした。仲間が集い、思う存分歌うことが当たり前でなくなるのは、1年前には思ってもいませんでした。新型コロナウイルスの影響により、様々な文化活動がままならない中、合唱もオンラインの利用などによって工夫された企画が多くありました。これまで以上にネット上で様々な演奏を楽しむ機会が増えた一方で、実際の声の響き合いに飢えていたように思います。今日は、合唱と演劇によって創り出される空気感を肌で感じられることと、集って歌う機会をいただけたことに感謝し、そして、響き合う時間を大切に歌いたいと思います。

合唱団きゃらぼく

昭和32年5月結成。指導者 故井川浩行先生 山陰放送少年少女合唱団(現リトルフェニックス)、米子市音楽祭、鳥取県西部合唱連合ふれあいコンサートに毎年出演。平成6年8月に指導者が原礼子先生になりました。今年結成63周年になりました。毎年山陰少年少女合唱団リトルフェニックスの定期演奏会に出演させて頂くことが合唱団の目標となっています。原礼子先生の厳しいご指導にも愛情を感じながら頑張っています。

- 練習場所/米子市文化ホール
- 練習日時/毎週金曜日19:00～21:00

ドリーム・エコー

平成5年、安来市中央公民館のサークルとして始まりました。山陰少年少女合唱団リトルフェニックス定期演奏会、米子市音楽祭、安来市刃物まつり、安来市公民館文化祭、安来市一風亭コンサートなどに毎年出演しています。第15回定期演奏会おめでとうございます。今年は、コロナの影響で練習も大変だったことでしょう。いつもの笑顔と歌声を楽しみにし、感動しています。大変な時期ですが、益々の活躍を期待しています。そして、私達も今日のこの日に出演出来ることを喜びとしています。

- 練習場所/安来市中央交流センター(安来市役所向かい側)
- 練習日時/月4回火曜日20:00～21:30

合唱団 ほぶら

今年、創立62年を迎えました。団員の年齢の差が大きいのですが新しい曲にも積極的にチャレンジしています。6月の米子市音楽、11月のふれあいコンサート、12月のリトルフェニックス定期演奏会などに参加しています。一緒に歌ってみたい方大歓迎いたします。今年は新型コロナの関係で多くの演奏会が中止となり、非常に残念な年となりました。そのような中、演奏会に参加させていただき大変喜んでいきます。年の終わりにコロナに負けないよう歌います。前項の歌の好きな方々となつがっていることを実感し、お互いに勇気を与えられるよう頑張ります。来年はまたいつものような演奏会ができるよう願っています。

- 練習場所/啓成公民館
- 練習日時/毎週月曜日19:00～21:00

歌はともだち

2007年から河崎公民館にて月2回原先生指導のもとで、各介護施設等に訪問して歌を聞いていただき、「楽しく」をもっと活動しております。山陰少年少女合唱団リトルフェニックス15回定期演奏会おめでとうございます。今年はコロナウイルスの影響でいろいろな活動が制限され、私達高齢者のグループは特に出かける事も少なく寂しく過ごしております。この度、演奏会が開催される事になり、私達のグループも参加させていただき一同嬉しく思っております。

- 練習場所/河崎公民館
- 練習時間/第1第2水曜日 10:00～12:00

作曲家／岡野貞一

明治11年2月16日、鳥取県邑美郡古市村(現・鳥取市古市)に生まれる。姉の寿美について通い始めた鳥取教会で幼少より賛美歌に親しみ、14歳の時洗礼を受ける。その後、岡山へ転動した姉を頼り、明治26年、岡山県にあるキリスト教系の蕨陽学院に入学。英語の勉強に打ち込む。明治28年に上京し、9月には高等師範学校附属音楽学校(現・東京藝術大学)予科に入学。翌年本科に進む。在学中は、音楽学校進学を勧めくれた永井幸次らと一時同居していた。卒業後は指導者として同校に留まり、後進の指導にあたった。在任中に文部省から小学校唱歌教科書編纂委員を命じられ、「尋常小学読本唱歌」「尋常小学唱歌」などの編纂にたずさわり、多くの唱歌を作曲した。長野県出身の国文学者 高野辰之の詞に曲を付けた「ふるさと」「おぼろ月夜」などは、100年以上経った今日でも歌い継がれている。熱心なクリスチャンとして知られ、40年余りに亘って毎日より日に東京の本郷中央教会で礼拝のオルガン演奏や聖歌隊の指導に当たった。公務の都合以外で教会の務めを休んだ記録がないという逸話からは、実直な性格が窺われる。昭和16年12月29日、63歳で逝去。(わらべ館ホームページより)

